



2026年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月15日

上場会社名 ザ・パック株式会社 上場取引所 東
コード番号 3950 URL <https://www.thepack.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 仲村 直樹
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役コーポレート本部長 (氏名) 下村 郁夫 (TEL) 06(4967)1221
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年12月期第1四半期の連結業績（2026年1月1日～2026年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第1四半期	24,038	4.7	1,262	△1.1	1,281	△3.0	864	△13.1
2025年12月期第1四半期	22,951	1.1	1,277	△20.9	1,320	△21.0	994	△32.8

(注) 包括利益 2026年12月期第1四半期 1,019百万円 (59.6%) 2025年12月期第1四半期 638百万円 (△66.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第1四半期	15.54	15.54
2025年12月期第1四半期	17.64	17.63

(注) 当社は、2025年7月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第1四半期	96,445	76,803	79.6
2025年12月期	104,212	76,997	73.9

(参考) 自己資本 2026年12月期第1四半期 76,785百万円 2025年12月期 76,978百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	58.00	—	22.00	—
2026年12月期	—	—	—	—	—
2026年12月期（予想）	—	17.00	—	25.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は、2025年7月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。「2025年12月期」の第2四半期末配当金については、株式分割前の実際の配当金の額を記載しており、年間配当金合計は「—」と記載しております。なお、株式分割を考慮した場合の「2025年12月期」の1株当たり第2四半期末配当金は19円33銭、年間配当金合計は41円33銭になります。

3. 2026年12月期の連結業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	49,000	3.4	3,000	4.8	3,100	2.0	2,200	△9.4	39.58
通期	106,000	2.8	7,500	4.1	7,700	2.2	5,300	△12.0	95.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期 1 Q	59,700,000 株	2025年12月期	59,700,000 株
② 期末自己株式数	2026年12月期 1 Q	4,097,151 株	2025年12月期	4,115,930 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期 1 Q	55,602,849 株	2025年12月期 1 Q	56,353,964 株

(注) 当社は、2025年7月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「期中平均株式数」を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想等の将来に関する記述は、業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定及び本日現在における入手可能な情報を前提としており、実際の業績等は様々な要因で大きく異なる結果となる可能性があります。

なお、業績予想に関しましては、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、前年並みの賃上げが続き、政府による責任ある積極財政の下で物価高対策を講じているため景気は緩やかに回復しています。物価上昇の鈍化などを受けて財消費が下げ止まりつつあるほか、娯楽関連を中心にサービス消費は堅調に推移し個人消費は緩やかに増加しています。しかし、中東情勢を巡る不透明感や物価上昇への懸念が消費者マインドを下押しする大きなリスクとなっています。

米国の経済は、高金利を背景に消費者が高額商品の購入を控え、企業が将来への不透明感から大型投資を見送ったことが、経済全体の成長ペースを大きく鈍化させる主因となりましたが、力強い雇用市場が景気を下支えしております。

中国の経済は、政府の政策的な後押しとハイテク分野の好調により、全体としては市場の予想を超える成長を見せましたが、その一方で深刻な不動産不況は継続しており、個人の消費意欲も依然として力強さを欠いているため、内需の本格的な回復には至っていない状況です。

このような状況の中、当社グループは、持続可能な成長に向けた強固な事業基盤・経営基盤の構築のため、「パーパスの実現に向けた足場固め」を中期経営計画のスローガンに掲げ、連結売上高1,200億円、営業利益100億円

(2030年12月期)の達成を目標としており、グループ全社が結束して新たな市場開拓、品質管理体制の構築などにより業績の向上に努めてまいりましたが、積極的な設備投資並びに人的投資を進めたこともあり、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は240億38百万円(前年同期比4.7%増加)、営業利益は12億62百万円(前年同期比1.1%減少)、経常利益は12億81百万円(前年同期比3.0%減少)となり、前年同期に政策保有株式の売却益が膨らんだ反動で親会社株主に帰属する四半期純利益は8億64百万円(前年同期比13.1%減少)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(紙加工品事業)

当第1四半期連結売上高の73.0%を占めるこの部門では、紙袋(対連結売上高構成比30.1%)は、国内向けの販売が堅調に推移しただけでなく、海外向けの販売も伸び、同上売上高は72億28百万円(前年同期比1.4%増加)となりました。

紙器(同上構成比25.6%)は、食品を中心とした土産物市場やテイクアウト・宅配向けの食品容器並びにEC市場向けパッケージの販売が堅調に推移した結果、同上売上高は61億62百万円(前年同期比1.5%増加)となりました。

段ボール(同上構成比15.9%)は、テイクアウト用の食品容器やEC市場向け並びに配送用パッケージが好調に推移したことで、同上売上高は38億10百万円(前年同期比17.9%増加)となりました。

印刷(同上構成比1.4%)は、吸収合併した日幸印刷株式会社のセグメントの分類を変更したことで、同上売上高は3億47百万円(前年同期比25.1%減少)となりました。

以上により、この部門の売上高は175億48百万円(前年同期比3.9%増加)となり、営業利益は11億66百万円(前年同期比7.1%減少)となりました。

(化成品事業)

当第1四半期連結売上高の12.5%を占めるこの部門では、食品向けの多様な軟包装が伸長しましたが、衛生用品向けパッケージの販売が減少したことで、同部門の売上高は29億92百万円(前年同期比6.3%減少)となり、営業利益は1億15百万円(前年同期比22.1%減少)となりました。

(その他)

当第1四半期連結売上高の14.5%を占めるこの部門では、イベント用のソフトバッグの販売が好調に推移し、同部門の売上高は34億97百万円(前年同期比22.0%増加)となり、営業利益は2億58百万円(前年同期比54.1%増加)となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ77億66百万円減少し、964億45百万円となりました。これは主に「受取手形及び売掛金」65億22百万円・「現金及び預金」17億6百万円の減少によるものです。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ75億73百万円減少し、196億41百万円となりました。これは主に「支払手形及び買掛金」29億97百万円・「電子記録債務」26億93百万円の減少によるものです。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ1億93百万円減少し、768億3百万円となりました。これは主に「為替換算調整勘定」1億20百万円・「その他有価証券評価差額金」50百万円の増加、「利益剰余金」3億73百万円の減少によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2026年2月13日に公表しました内容から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,061	22,355
受取手形及び売掛金	24,809	18,286
有価証券	2,000	1,500
商品及び製品	7,271	7,387
仕掛品	1,139	1,528
原材料及び貯蔵品	1,033	1,190
その他	1,384	1,526
貸倒引当金	△32	△27
流動資産合計	61,667	53,746
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,338	8,300
機械装置及び運搬具(純額)	9,786	9,480
工具、器具及び備品(純額)	329	335
土地	11,238	11,446
建設仮勘定	659	727
有形固定資産合計	30,352	30,290
無形固定資産	4,310	4,464
投資その他の資産		
投資有価証券	6,114	6,202
退職給付に係る資産	1,017	1,015
繰延税金資産	123	106
その他	679	678
貸倒引当金	△52	△59
投資その他の資産合計	7,881	7,943
固定資産合計	42,544	42,699
資産合計	104,212	96,445

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,593	10,595
電子記録債務	6,014	3,321
1年内返済予定の長期借入金	128	128
未払法人税等	1,510	538
賞与引当金	309	797
役員賞与引当金	50	17
その他	4,313	3,063
流動負債合計	25,920	18,463
固定負債		
長期借入金	334	297
退職給付に係る負債	306	305
繰延税金負債	623	544
その他	30	30
固定負債合計	1,294	1,178
負債合計	27,214	19,641
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,553	2,553
資本剰余金	3,164	3,168
利益剰余金	72,954	72,580
自己株式	△4,485	△4,464
株主資本合計	74,186	73,838
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,624	1,675
繰延ヘッジ損益	-	△0
為替換算調整勘定	625	746
退職給付に係る調整累計額	541	525
その他の包括利益累計額合計	2,791	2,947
新株予約権	18	18
純資産合計	76,997	76,803
負債純資産合計	104,212	96,445

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
売上高	22,951	24,038
売上原価	17,251	18,233
売上総利益	5,699	5,805
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	941	980
給料及び手当	1,002	1,077
役員報酬	125	124
貸倒引当金繰入額	17	△3
賞与引当金繰入額	282	234
役員賞与引当金繰入額	13	12
退職給付費用	54	48
減価償却費	192	187
賃借料	770	869
その他	1,021	1,009
販売費及び一般管理費合計	4,422	4,542
営業利益	1,277	1,262
営業外収益		
受取利息	37	25
受取配当金	12	12
受取賃貸料	10	10
その他	8	11
営業外収益合計	68	59
営業外費用		
支払利息	0	1
賃貸収入原価	1	1
為替差損	22	28
その他	0	9
営業外費用合計	25	41
経常利益	1,320	1,281
特別利益		
投資有価証券売却益	94	-
固定資産売却益	0	-
特別利益合計	94	-
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	0	5
特別損失合計	0	5
税金等調整前四半期純利益	1,414	1,275
法人税、住民税及び事業税	564	499
法人税等調整額	△143	△87
法人税等合計	420	411
四半期純利益	994	864
親会社株主に帰属する四半期純利益	994	864

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
四半期純利益	994	864
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△139	50
繰延ヘッジ損益	△4	△0
為替換算調整勘定	△203	120
退職給付に係る調整額	△8	△15
その他の包括利益合計	△355	155
四半期包括利益	638	1,019
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	638	1,019

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	紙加工品 事業	化成品 事業	計				
売上高							
紙袋	7,126	-	7,126	-	7,126	-	7,126
紙器	6,069	-	6,069	-	6,069	-	6,069
段ボール	3,232	-	3,232	-	3,232	-	3,232
印刷	463	-	463	-	463	-	463
化成品パッケージ	-	3,192	3,192	-	3,192	-	3,192
その他	-	-	-	2,865	2,865	-	2,865
顧客との契約から 生じる収益	16,892	3,192	20,085	2,865	22,951	-	22,951
その他の収益	-	-	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	16,892	3,192	20,085	2,865	22,951	-	22,951
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	16,892	3,192	20,085	2,865	22,951	-	22,951
セグメント利益	1,255	148	1,403	168	1,571	△294	1,277

(注) 1. 「その他」は用度品、その他雑貨であります。

2. セグメント利益の調整額△294百万円には、各報告セグメントに配分していないセグメント間取引消去△44百万円及び全社費用△250百万円が含まれております。全社費用は、主に親会社の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自2026年1月1日至2026年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	紙加工品 事業	化成品 事業	計				
売上高							
紙袋	7,228	-	7,228	-	7,228	-	7,228
紙器	6,162	-	6,162	-	6,162	-	6,162
段ボール	3,810	-	3,810	-	3,810	-	3,810
印刷	347	-	347	-	347	-	347
化成品パッケージ	-	2,992	2,992	-	2,992	-	2,992
その他	-	-	-	3,497	3,497	-	3,497
顧客との契約から 生じる収益	17,548	2,992	20,541	3,497	24,038	-	24,038
その他の収益	-	-	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	17,548	2,992	20,541	3,497	24,038	-	24,038
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	17,548	2,992	20,541	3,497	24,038	-	24,038
セグメント利益	1,166	115	1,281	258	1,540	△277	1,262

(注) 1. 「その他」は用度品、その他雑貨であります。

2. セグメント利益の調整額△277百万円には、各報告セグメントに配分していないセグメント間取引消去△10百万円及び全社費用△267百万円が含まれております。全社費用は、主に親会社の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自2025年1月1日 至2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2026年1月1日 至2026年3月31日)
減価償却費	687百万円	695百万円
のれんの償却額	－百万円	4百万円